



# つちおと

## 3. 11...

2011. 3. 11. あの日から2年の月日が過ぎました。

改めまして、震災で亡くなられた方々のご冥福と、未だ行方不明の皆様が、一日も早くご家族の元に戻られることをご祈念申し上げますとともに、ご遺族、ならびに被災された方々に衷心よりお見舞い申し上げます。

今年も国、被災自治体主催で追悼式が執り行われ、被災地のみならず、国内外の人々が悲しみを共有し、東日本大震災という自然の猛威を再認識したと同時に、復興への誓いを新たにしたいのではないのでしょうか。

今回の地震は、私たちがこれまで経験したことのない大規模な被害をもたらしました。被災地では今、住宅再建をはじめとする復興まちづくり、なりわいの再興などが進められていますが、未だ様々な課題を抱えています。この困難を乗り越え、普段の生活を取り戻すことが、震災犠牲者の無念を晴らすことになると思います。被災地を支えるため、復興庁がリーダーシップを発揮し、『準備から実行へ』進む3年目をしっかり支援したいと思います。



気仙沼市、南三陸町の追悼式の様子（中央の写真は南三陸町から提供いただきました。）

◆3月も半ばを過ぎ、被災地でも春の気配を感じるようになってきました。浜では、ワカメやイサダの水揚げに精を出す姿があちこちで見られます。

また、鮭の稚魚を海水に慣らすため、川にある孵化場から海のにけすに移す作業も、この時期の風物詩になっているようです。この稚魚が4年後に大きく成長して戻ってくるころには、被災地も生まれ変わっていることでしょう。

◆復興庁では、国・被災地方公共団体・民間事業者が参加するプロジェクト検討の場を設け、被災地方公共団体と民間事業者が連携して推進しようとするプロジェクトの事業化を支援することで、被災地において横展開が可能な事業モデルを検討してきました。気仙沼市では「被災地支援住宅建設事業」が進められており、市役所応援職員用の宿舍建設が完成間近となっています。南三陸町では「デイサービスセンター多角化事業」が採択されており、次の機会に紹介します。



半製品のブロックを海外から調達し、現地で組み上げることで、国内で困難になりつつある資材調達を省き、工期の短縮を図っている。

写真上は全景  
写真下は居室



◆朝晩と日中の寒暖差が大きいこの時期は、体調を崩しやすいものです。また、花粉の飛散、黄砂、そして世間を騒がせている粒子状物質PM2.5。インフルエンザは落ち着いたものの、マスクが手放せない日々が続いています。

春の陽気に気を緩めず、体調管理に留意してください。（山）

## 2月26日 南三陸町防災集団移転促進事業着工式

南三陸町では、震災復興計画において土地利用の在り方について、「なりわいの場所は様々であっても、住まいは高台に」を基本とし、「津波が来たら、まず逃げる」ことに加え、これまでの災害教訓を踏まえた「安全な場所に住む」という考えを津波対策の大きな柱とし、高台に新たに宅地を造成し、より安全で、安心して暮らせる居住地の確保を推進することとしています。

2月26日には、藤浜地区において、町長、議長、地権者等が出席した南三陸町防災集団移転促進事業着工式が行われました。藤浜地区では、10戸、平成25年12月造成工事完成を予定しています。また、南三陸町は、防災集団移転促進事業について、20地区28団地を計画し、整備に関する作業を進めています。



\*写真は佐藤町長の号令で立木伐採が行われている様子。

## 3月1日 サケ稚魚の海水移行

3月1日に、大沢（唐桑）漁港において、サケの回帰率の向上を目的としたサケ稚魚の海中飼育のための海水移行が行われました。

当日は、地元の漁業者を中心に、広田湾漁業協同組合気仙川ふ化場からのサケ稚魚の搬出と大沢（唐桑）漁港への輸送、漁港での生け簀へのサケ稚魚の搬入と生け簀の設置が行われました。

今回は、約100万尾のサケ稚魚が海水移行され、4月上旬の放流を予定しています。

\*写真は、

- ①サケ稚魚が育てられた気仙川ふ化場
- ②ふ化場から搬出されるサケ稚魚
- ③サケ稚魚の生け簀への放流
- ④生け簀の設置の様子。



## 3月3日 三陸沿岸道路 登米志津川道路 志津川トンネル 貫通式

3月3日に、三陸沿岸道路登米志津川道路志津川トンネルの貫通式が、小野寺防衛大臣、村井宮城県知事、佐藤南三陸町長等の出席のもとで行われました。

三陸沿岸道路登米志津川道路は、登米市中田町浅水（登米IC）を起点に中田町を通り、北上川を渡河し、登米市東和町を経て本吉郡南三陸町志津川字小森（志津川IC（仮））に至る延長16.1kmの自動車専用道路であり、志津川トンネルは、登米市と南三陸町の境に位置しています。

\*写真は、貫通発破の様子（左）、鏡開き（右）の様子。





# 復興関連予算の御紹介

先月閣議決定された  
予算を御紹介します。

ここでは、平成25年1月29日に閣議決定がなされた平成25年度予算案を紹介します。

東日本大震災復興特別会計 平成25年度予算総額 4兆3,840億円

(復興庁予算の主な内容)

## (1) 被災者支援 (1,883億円)

被災者の方々の住宅再建、被災した学生の修学等を引き続き支援するとともに、コミュニティの弱体化、孤立化が問題となっている中で、心のケア等を支援するための予算を計上。

- ・災害救助法による災害救助 (529億円)  
東日本大震災による被災者の方々に供与している応急仮設住宅の延長などに伴う経費を負担。

## (2) まちの復旧・復興 (1兆6,670億円)

本格的な復旧や復興に向けた公共インフラ等の整備を事業計画及び工程表に沿って推進するための予算を計上。

- ・東日本大震災復興交付金 (5,918億円)  
東日本大震災により著しい被害を受けた地域の復興を進めるため、公共施設等の災害復旧だけでは対応が困難な失われた市街地の再生等を、1つの事業計画の提出により一括で支援。
- ・災害復旧事業 (6,611億円)  
平成24年度に引き続き、事業計画及び工程表も踏まえ、東日本大震災で被災した海岸堤防、農地・農業用施設、上水道、学校等の復旧を重点的に推進。
- ・復興道路・復興支援道路の整備等 (1,384億円)  
三陸沿岸地域の1日も早い復興を図るためのリーディングプロジェクトとして、三陸沿岸道路等の復興道路、復興支援道路の整備等を推進。

## (3) 産業の振興・雇用の確保 (3,075億円)

津波浸水地域等における産業の本格的な復興や雇用の確保のために必要な予算を計上。

- ・津波・原子力災害被災地域雇用創出企業立地補助金 (1,100億円)  
東日本大震災で特に大きな被害を受けた津波浸水地域及び原子力災害により甚大な被害を受けた警戒区域等の解除区域をはじめとする福島県の産業復興を加速するため、企業立地補助制度を創設。
- ・中小企業組合等共同施設等災害復旧事業 (250億円)  
津波浸水地域又は警戒区域等であって、特に復興が遅れている被災3県で、中小企業等グループが復興事業計画に基づき行う、必要な施設等の復旧・整備や地域の商業機能回復のニーズに応えるための共同店舗の設置、街区の再配置等を支援。
- ・被災地域中小造船業復興支援事業 (160億円)  
地域基幹産業である水産業に貢献し、地盤沈下により復興が困難な中小造船関連事業者の集約等を支援。

## (4) 原子力災害からの復興・再生 (7,264億円)

国が前面に立って福島の深刻な諸課題に対応できるよう、新たな事業制度を創設するなど、原子力災害からの福島の復興及び再生を加速するために必要な予算を計上。

## (5) 東日本大震災復興推進調整費 (100億円)

復興庁の司令塔機能を強化しつつ、諸制度の隙間を埋め、復興に関し国が実施する調査・企画事業の委託や被災県が実施するソフト事業に対する補助等を実施。

## (6) 復興祈念施設基本構想検討調査費 (0.5億円)

東日本大震災は広域にわたり甚大な被害が生じた未曾有の大災害であることに鑑み、国が地方と連携して、犠牲者への追悼と鎮魂や、日本の再生に向けた復興への強い意志を国内外に向けて明確に示すこと等を目的とした、復興の象徴となる森や丘等(復興祈念施設)を整備するための基本構想の作成に向けた検討・調査を推進。

\*四捨五入等の都合から合計とは一致しない場合があります。

# 復興関連事業の現場

復興関連事業の現場を  
写真とともに御紹介します。

今回は、復興庁による職員の派遣についてお知らせします。

復興庁は、復旧・復興事業の推進のため、JICA（独立行政法人国際協力機構）と連携し、青年海外協力隊帰国隊員を復興庁（復興局）において任期付きの職員として採用し、被災自治体に派遣する取組を進めています。

今回、気仙沼市にこの職員が復興支援専門員として派遣されることとなり、3月1日に市役所で委嘱状の交付式が行われました。

今回派遣された復興支援専門員は、ケニアやウガンダでの活動経験を持ち、震災後は気仙沼市内でボランティア団体の仲介役として活動されていた方です。

復興庁としても、今後ともこのような取組を積極的に推進してまいります。

\*写真は、委嘱状の交付の様子（気仙沼市から提供いただきました。）。



## ナンプレにチャレンジ！！

			8	9		4	1	
9								
5		7	1	3		6		
						5		1
1		9		6		2		3
3		5						
		4		7	3	1		6
								4
		9	6		1	2		

### ルール

・9マスごとの縦の列と横の列にそれぞれ1から9の数字が1つずつ入ります。

・太枠で囲まれた9マス（縦3マス、横3マス）にそれぞれ1から9の数字が1つずつ入ります。

### 【編集後記】

◆今月、穴の空いてしまった手袋を新調したものの、新調した途端に暖かくなってきました。暖かくなってきたことは大歓迎ですが、新しい手袋を見るとほんの少しだけ複雑な気持ちになる今日この頃です。

（前号のナンプレの回答）

6	9	1	5	2	8	7	4	3
3	8	4	9	1	7	5	6	2
7	2	5	6	4	3	8	1	9
8	3	6	4	7	2	1	9	5
1	5	2	8	9	6	4	3	7
9	4	7	1	3	5	6	2	8
5	6	9	2	8	1	3	7	4
2	1	3	7	5	4	9	8	6
4	7	8	3	6	9	2	5	1



### 春本番間近！

釜に投入された「わかめ」は一瞬で茶色から鮮やかな緑に変身する。まるでマジック。

三陸の海に育まれた「わかめ」の収穫で浜にはぎわいをみせています。

「つちおと」がホームページから御覧いただけるようになりました！  
URLは、  
<http://www.reconstruction.go.jp/topics/001177.html>  
または、①復興庁ホームページ→②宮城復興局→③気仙沼支所だより「つちおと」にお進みください。

「つちおと」発行元（お問い合わせ先）  
復興庁 宮城復興局 気仙沼支所  
電話 0226-23-5301  
FAX 0226-23-5310

復興庁ホームページ  
<http://www.reconstruction.go.jp/>